



2022年9月13日

各 位

会社名 株式会社ファイバークラウド
代表者名 代表取締役社長 猪又 将哲
(コード番号：9450 東証プライム 札証)
問合せ先 常務取締役 経営企画本部長 濱渦 隆文
(TEL.011-204-6121)

上場維持基準の適合に向けた計画（新規）

当社グループは、2022年6月末時点において、東証プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記の通り上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせ致します。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年6月末時点における東証プライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下の通りであり、流通株式時価総額については当該基準に適合していません。当社は下表の通り、流通株式時価総額に関する上場維持基準を充足するため各種取り組みを進めてまいります。

なお計画期間については、2023年6月期末と致します。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況 (2021年6月30日 時点)	8,005人	83,643単位	128億円	40.9%
当社の状況 (2022年6月30日 時点)	7,164人	89,150単位	98億円	43.2%
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が各基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等を元に算出しております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 基本方針

当社は、持続的な成長と企業価値向上を目指し、各種施策を推進することにより、プライム市場上場維持基準への適合を目指してまいります。

(2) 課題及び取組内容

当社は、流通株式時価総額が基準に達していない結果を踏まえ、「株価」及びその主な要因である「成長戦略」、「IRの充実」が課題であると考えており、下記のとおり2023年6月期の年度計画を始めとする各種施策を着実に進めていくことが重要であると判断しております。

① 年度計画の着実な遂行

当社は、下記事業ごとの年度計画のとおり、ホームユース事業を主力とし継続的に成長させるとともに、ビジネスユース事業においては新たなターゲット業界に向け、営業力の強化およびパートナー戦略による業績拡大を見込んでおります。また、半導体不足や円安等による仕入れコストの増加に対して、製造部門、調達部門、営業部門、財務部門の連携強化による在庫コントロール及び外貨調達のリスクヘッジを徹底することで、原価コストの増加を抑え利益成長率を向上させてまいります。

<ホームユース事業>

既築物件需要の一巡化の傾向は見られたものの、前期から新築物件の案件増加により契約戸数増加のピッチは維持されるものと考えております。2022年6月期のレジデンスWi-Fi契約の獲得実績は、80,100戸（累計451,300戸）、2023年6月期の計画では、93,500戸（累計544,800戸）としており、前期を上回る獲得数を見込んでおります。

(単位：戸)	22年6月期 実績	23年6月期 計画
レジデンスWi-Fi契約戸数	80,100	93,500
増分(成長)	-	+13,400
累計契約戸数	451,300	544,800

<ビジネスユース事業>

当社では、一定以上の滞在時間がある地域や施設において、フリーWi-Fiの需要が見込めると判断しており、ビジネスユース事業においては、病院/介護、観光、公共のターゲット3領域に焦点を定め、営業力の強化およびパートナー戦略を展開することによる事業拡大を推進してまいります。特に、病院領域においては、患者・来訪者用途への導入率が低いことから医療ディーラーと連携して導入を進めてまいります。また、介護領域においては、介護従事者向けのDX化ニーズに合わせ導入を推進してまいります。さらに、災害や事故等における通信障害に備えたBCP対策についても、需要開拓を目指します。

該当のターゲット3領域の2022年6月期獲得実績は146件であり、2023年6月期の計画では、357件の新規獲得を見込んでおります。なお、ターゲット3領域においての獲得状況については、新たに重要指標として四半期決算ごとに開示を行ってまいります。

また、スマートコールなどの新サービス及び再生可能エネルギー事業などの新規事業の収益化に力を入れ、新たな収益源の探索及び創出を図り企業価値の向上を目指してまいります。

(単位：件)	22年6月期 実績	23年6月期 計画
ターゲット3領域新規設置数	146	357
増分(成長)	-	+211

<2023年6月期計画>

上記のとおり計画を遂行し、前期比22.2%増の連結営業利益を見込んでおります。

(単位：百万円)	21年6月期 実績	22年6月期 実績	23年6月期 計画	前年比 増減率
連結売上高	8,491	10,624	12,900	+21.4%
連結営業利益	1,559	1,652	2,020	+22.2%

② IRの充実

当社では、広報チームを置くことで情報開示の頻度を着実にあげてまいりました。引き続きコンテンツの拡充及び市場とのコミュニケーションが重要と考え、以下の施策に取り組んでまいります。

- オンライン決算説明、事業内容の説明等動画コンテンツの配信
- ESG/SDGs/気候変動を含めたサステナビリティへの取り組みについての情報開示
- 情報開示の公平性の確保のため、英文開示の充実
- 引き続き機関投資家並びに個人投資家への決算説明会の開催
- 機関投資家との定期的な1on1ミーティングの実施

以上